

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	360	15.7	105	66.5	105	66.5	77	58.1
2020年3月期第2四半期	311	5.6	63	△8.6	63	11.1	49	14.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	15.47	15.39
2020年3月期第2四半期	9.68	9.51

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,170	1,092	93.3
2020年3月期	1,189	1,047	88.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,092百万円 2020年3月期 1,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840	2.5	280	2.3	280	2.5	205	18.8	40.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,146,000株	2020年3月期	5,138,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	120,028株	2020年3月期	120,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,021,961株	2020年3月期2Q	5,074,803株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前事業年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大によって東京オリンピック・パラリンピックが開催延期、緊急事態宣言発出による不要・不急の外出自粛等が影響し、急激に悪化いたしました。事業者は休業要請対応やテレワーク対応に迫られ、緊急事態宣言解除後には経済活動と感染予防の両立を目指した「新しい生活様式」が公表されたものの、7月から9月にかけて感染者数は増加し、依然として日本経済の先行きは不透明であります。

当社を取り巻く環境においては、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期に伴いオリンピック関連案件の発注延期、海外からの観光者減少に伴う多言語案件の減少、展示会の中止等に伴う営業機会の減少等の影響がありました。企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途での需要が増加し、また、個人の外出自粛に伴いコンシューマー向け製品の需要が拡大しました。当社は、需要が拡大している分野への拡販を進めるとともに、ポストコロナを見据え、次世代音声合成エンジン「AITalk®5.0」の提供開始、セレンス社との技術連携強化、営業体制の強化、「AITalk®5声プラス®」販売記念キャンペーンの実施等を進めてまいりました。

このような事業環境の中で、当第2四半期累計期間の音声合成事業は、コンシューマー向け製品、法人向け製品が順調に推移しました。

当第2四半期累計期間の売上高は360,063千円（前年同期比15.7%増）、営業利益は105,585千円（同66.5%増）、経常利益は105,557千円（同66.5%増）、四半期純利益は77,677千円（同58.1%増）となりました。

なお当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、特性に応じた3つの区分別の売上高につきましては、法人向け製品188,837千円（前年同期比21.3%増）、法人向けサービス111,495千円（同0.4%減）、コンシューマー向け製品59,730千円（同36.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して18,771千円減少し、1,170,378千円となりました。これは主に、現金及び預金が66,910千円増加したものの、売掛金が75,500千円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が3,652千円、投資有価証券が3,196千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して63,002千円減少し、78,212千円となりました。これは主に、未払法人税等が30,944千円、買掛金が10,996千円、その他に含まれる未払金が15,290千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して44,231千円増加し、1,092,165千円となりました。これは主に、利益剰余金が42,551千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は93.3%（前事業年度末は88.1%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前事業年度末と比較して66,910千円増加し、1,031,425千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、103,485千円となりました。これは主に、未払金の減少額15,375千円、法人税等の支払額47,419千円等があった一方、売上債権の減少額75,500千円、税引前四半期純利益102,362千円の計上があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動により支出した資金は、2,807千円となりました。これは主に、工具、器具及び備品等の有形固定資産の取得による支出2,583千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動により支出した資金は、33,767千円となりました。これは主に、配当金の支払額35,040千円によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想については、2020年5月15日公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	964,515	1,031,425
売掛金	159,769	84,269
仕掛品	-	1,066
原材料及び貯蔵品	1,397	1,380
その他	12,188	10,287
流動資産合計	1,137,870	1,128,428
固定資産		
有形固定資産	16,038	16,054
無形固定資産		
ソフトウェア	8,899	6,699
無形固定資産合計	8,899	6,699
投資その他の資産	26,339	19,196
固定資産合計	51,278	41,949
資産合計	1,189,149	1,170,378
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,767	2,771
リース債務	823	840
未払法人税等	55,188	24,244
前受収益	11,234	14,153
その他	57,359	33,943
流動負債合計	138,372	75,953
固定負債		
リース債務	1,676	1,251
長期前受収益	1,166	1,007
固定負債合計	2,842	2,258
負債合計	141,214	78,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	149,471	150,311
資本剰余金	204,125	204,965
利益剰余金	894,099	936,650
自己株式	△199,762	△199,762
株主資本合計	1,047,934	1,092,165
純資産合計	1,047,934	1,092,165
負債純資産合計	1,189,149	1,170,378

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	311,333	360,063
売上原価	62,718	49,052
売上総利益	248,615	311,011
販売費及び一般管理費	185,188	205,426
営業利益	63,426	105,585
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	4
講演料収入	20	18
営業外収益合計	25	23
営業外費用		
支払利息	64	48
為替差損	—	2
営業外費用合計	64	50
経常利益	63,388	105,557
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	—	3,195
特別損失合計	0	3,195
税引前四半期純利益	63,388	102,362
法人税、住民税及び事業税	15,129	21,033
法人税等調整額	△857	3,651
法人税等合計	14,271	24,685
四半期純利益	49,116	77,677

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	63,388	102,362
減価償却費	6,240	4,992
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,195
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	64	48
固定資産除却損	0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,640	—
売上債権の増減額(△は増加)	43,887	75,500
たな卸資産の増減額(△は増加)	196	△1,049
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,166	△10,996
未払金の増減額(△は減少)	△13,514	△15,375
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△3,848	△4,557
前受収益の増減額(△は減少)	181	2,919
長期前受収益の増減額(△は減少)	—	△159
その他	△19,083	△5,927
小計	79,979	150,947
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△64	△48
法人税等の支払額	△29,215	△47,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,705	103,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の回収による収入	20	—
有形固定資産の取得による支出	△5,686	△2,583
無形固定資産の取得による支出	△699	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,366	△2,807
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,940	1,680
配当金の支払額	△40,000	△35,040
リース債務の返済による支出	△391	△407
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,452	△33,767
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,886	66,910
現金及び現金同等物の期首残高	970,110	964,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	983,997	1,031,425

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。